



特許やぶりの女王 弁理士・大鳳未来

著者名:南原詠
出版者:宝島社

特許権を盾に企業から巨額の賠償金をふんだくっていた凄腕の女性弁理士・大鳳未来が、相方の弁護士と共に防衛専門の特許法律事務所を立ち上げた。今回のクライアントは、映像技術の特許権侵害を警告され、活動休止を迫られる人気VTuber・天ノ川トリイ。2022年第20回『このミステリーがすごい!』大賞大賞受賞作。

愚かな薔薇

著者名:恩田陸
出版者:徳間書店

夏が近づく季節、母方の故郷・磐座を訪れた奈智。十四歳になると参加することになる二か月に及ぶ長期キャンプは、「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるためのものだった。キャンプの本当の目的とは一。14年の連載を経て紡いだ美しくもおぞましい吸血鬼SF。

皆のあらばしり

著者名:乗代雄介
出版者:新潮社

第166回芥川賞候補作。高校の歴史研究部に所属するぼくは、ある日皆川城址で中年男に出会う。男はぼくが入手した旧家の蔵書目録を奪い取ると、映画監督の縁戚にあたる小津久足の著作を指さし、『皆のあらばしり』などという本はこれまで全く記録されていないと言う。

もう別れてもいいですか

著者名:垣谷美雨
出版者:中央公論新社

離婚したい。でも、お金がない。『老後の資金がありません』の著者が女を奴隷扱にする男たちとの決別を描く、ベテラン主婦のハッピー離婚戦線。

六つの村を越えて髭をなびかせる者

著者名:西條奈加
出版者:PHP研究所

江戸中期、幕府では蝦夷地開発が計画されていた。出羽国の貧しい農家に生まれた最上徳内は、師の本多利明の計らいで蝦夷地見分隊に随行する。蝦夷地の雄大で厳しい自然、アイヌの少年や長たちと交流するうち、徳内の中に北方とアイヌへの愛情が育まれていく。アイヌを虐げ、搾取する松前藩に怒りを覚えた徳内は。

月夜の森の梟

著者名:小池真理子
出版者:朝日新聞出版

「年をとったおまえを見たかった。見られないとわかると残念だな」作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイ52編。

我が友、スミス

著者名:石田 夏穂
出版者:集英社

「別の生き物になりたい」。筋トレに励む会社員・U野は、Gジムで自己流のトレーニングをしていたところ、O島からボディビル大会への出場を勧められ、本格的な筋トレと食事管理を始める。しかし、大会で結果を残すためには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならなかった――。

一九六一 東京ハウス

著者名:真梨幸子
出版者:新潮社

「60年前の団地生活を体験して500万円!」という企画につられて、リアリテイションに集まった二つの家族と番組制作者たち。古き佳き時代であるはずの昭和の生活は、思ったほど楽じゃないどころか地獄の格差社会。意外な人物たちも巻き込み、不穏な空気が漂い始める。次々と起こる事件は虚構か、現実か。

ケアマネジャーはらはら日記

著者名:岸山真理子
出版者:三五館シンシャ

「いらだちに直面する仕事」。介護支援専門員が向き合う怒り、悲しみ、不安の正体。人生の最終章を見つめて。

創世の日 巨大財閥解体と総帥の決断

著者名:江上剛
出版者:朝日新聞出版

花浦久兵衛は父の弥兵衛が明治維新後に設立した花浦財閥の総帥を受け継いだ。一九四五年の敗戦後、GHQ主導による財閥解体の危機に直面し、苦悩する久兵衛。やがてGHQ参謀第二部のキャン中佐率いる一団が花浦邸を接収し、傍若無人に振る舞い、屋敷は滅茶苦茶にされてしまう。



寂聴さんに教わったこと

著者名:瀬尾まなほ
出版者:講談社

追悼瀬戸内寂聴さん。66歳年下の秘書が、誰よりも近くで見つめつづけた、寂聴さんの最期の日々と、愛の教え。

李王家の縁談

著者名:林真理子
出版者:文藝春秋



「こうなったら、まあさんのお相手をすぐに決めなくてはなりませんね」方子は十四歳になるが、婚約するのに決して早過ぎることはない。皇族の娘は生まれ落ちた時から、配偶者を探し始めるのが常である。しかしもしかしたら皇太子妃にという輝やかなしい枷が、梨本宮家の動きを鈍くしていたのである。伊都子は再び頭を働かす。あの宮家、あの侯爵と親の顔と息子たちの年齢を思い浮かべる。宮家の妃が娘のために奔走した縁談の内幕とは？

すばらしい人体

著者名:山本健人
出版者:ダイヤモンド社

外科医が語る驚くべき人体のしくみ。唾液はどこから出ているのか？、目の動きをコントロールする不思議な力、人が死ぬ最大の要因、おならは何でできているか？、「深部感覚」はすごい…ブログ累計1000万PV超、Twitterフォロワー8万人超著者による人体&医学入門。

闇祓

著者名:辻村深月
出版者:KADOKAWA

「うちのクラスの転校生は何かがおかしいー」クラスになじめない転校生・要に、親切に接する委員長・滯。しかし、そんな彼女に要は不審な態度で迫る。唐突に「今日、家に行っていない？」と尋ねたり、家の周りに出没したり…。ヤバい行動を繰り返す要に恐怖を覚えた滯は憧れの先輩・神原に助けを求めるがー。

孤独の宰相 菅義偉とは何者だったのか

著者名:柳沢高志
出版者:文藝春秋

「岸田に改革はできない」ー。菅は、「岸田は総理に相応しくない」とたびたび漏らした。その真意はどこにあるのか、なぜその岸田に負けたのか。安倍・麻生との確執から、河野・小泉との本当の関係まで、担当記者だからこそ書ける菅義偉の実像。

どうぶつえんにいらっしゃい

著者名:本木洋子
出版者:新日本出版社

おおきなおおきな地震がありました。そのとき、どうぶつえんのどうぶつたちは…。

ぼっぼこうくう

著者名:もとやすけいじ
出版者:佼成出版社

ぼっぼこうくうがニューオープンだって！今日はどんな飛行機かなあ？ここはくものすくうこうだい2ターミナルです。もうすぐふゆごもりのきせつ。カエルおやこも、おぼあちゃんのうちですごすよていなのですが、どうやら、のるはずだったひこうきのハトがねむってしまったらしく…。

すきなこと にがてなこと

著者名:新井洋行
出版者:くもん出版

ぼくは、スポーツがだいすき。だけど、みんなのまえではなすのはにがて。はなすのがだいすきなりんちゃん、どうぶつがにがて。すきとにがてでみんながまるくつながって…すきとにがてでつながる世界。「すき」も「にがて」も、ありのままがいい。ちがいが輝く世界を描く絵本。